

ある下士官の白露戦争従軍日記（中）

原田敬一

〔抄録〕

第七師団歩兵聯隊の上等兵が、従軍中に書き続けた日記の翻刻。氏名不詳。召集まで北海道焼尻島警察分署に勤務していた警察官。従軍中に伍長に任じられ下士官となった。一九〇四年一月三日大阪港を出発し、奉天会戦などに参戦し、一九〇六年二月一八日三台子から「凱旋ノ途」につき、二八日神戸港、三月三日室蘭港に入港、市民の歓迎を受け、帰国。一六日増毛に入港して故郷

の歓迎を受ける一八日までの日誌。休戦協定以後は、下士官や将校は酒浸りの様子が描かれている。今回は、三回連載の（中）になる。

キーワード 白露戦争、従軍日記、歩兵聯隊、乗馬歩兵隊、

第七師団

【解説】

形態や入手の経緯等は前回の（上）に記載した。今回の（中）は、一九〇五年五月一日から二月三十一日までを掲載した。分量の制限により、二回分載の予定だったが、三回分載になってしまった。

コレラなど伝染病の患者が出ている様子や、前線に僧侶の慰問があったことなど具体的な戦場の様子がよくわかる。戦闘が膠着状態になった七月頃から、酒の配給が増え、下士官や兵たちはよく集まり、

宴会を行い、酒をせっせと呑んでいる。八月以降は、部隊で芝居をしたり、「講和」問題が話題になっていて、しだいに戦いに倦んでいる様子も描かれた。銃後に送る絵はがきの配給も八月には始まっている。飲酒の上喧嘩した、というのもこれ以後凱旋までの日記に頻繁に出てくる。戦闘が少なくなると軍紀が緩みだした。講和が成立したという噂は九月五日ごろから広がり、七日には聯隊長が成立したことをはっきりと説明したが、夜になり、講和条件が願いどおりでなかった（賠償金がなく、領土割譲も南樺太のみ）ことに立腹した聯隊長が、

それまで部隊に届いていた新聞などを捨てると命じるなどうつつぶん晴らしもあった。日比谷焼打ち事件の情報も、九月一六日には司令部から前線に届いている。休戦を意味する招魂祭は、九月二四・二五両日に第七師団司令部のある康平街で行われた。

なお原文どおりの翻刻であるが、著者が圈点をつけて強調している部分は波線で示した。また日曜日のみ翻刻部分に「日」と書き加えた。原文に曜日の記述はない。

（本文）明治廿七八年日露満洲之役日誌（この部分のみ再録）

五月十三日 降雨 舎営

敵ハ吾方左翼ニ迂回軍動ヲ始ム、遼陽下方ハ敵ノ為メ占領セラル、敵ノ斥候ハ海周下法ニ出没ス、我前面ニハ、シヨチンコー將軍ノ主力集中、中ナリ

五月十四日(日) 降雨 舎営

敵將シヨチンコーハ払暁又ハ天候不良ノ時来襲ノ警アリ、警戒厳ナリ、^マバルチック盤隊ノ戦報ヲ得ン為メ各兵一般鶴首待居ル、本日恤兵部ヨリ酒手拭ノ分配アリ、鯉ヲ食ス、昌凶ハ我軍ニテ取返ス、三頭手村ハ敵騎兵砲四門ヲ率ヒ南下シ来リ、本夜第一中隊ニテ浄瑠璃、ウカレ節、講談ヲ聞ク

五月十五日 晴天 舎営

午前七時右翼軍第【消し・七】九師団ト連絡ヲ通スル命ヲ受ケ東、西、

及中流、遼河ヲ渡渉シテ第十九聯隊第二大隊長浜口忠之少佐面会、連絡斥候ノ任務ヲ全シ帰隊、渡辺聯隊長大二悦ブ、本日恤兵部ヨリばら齒磨粉及楊子ノ分配アリ

五月十六日 降雨 舎営

午后六時第十一回補充兵受領ノ為メ花陽樹出發、孤田村ニテ舎営、通路泥歩行困難、敵騎三千我前哨線右村落ニ宿営ス

五月十七日 晴天 舎営

午前五時孤田村出發、七時新城堡ニ着シ輸送指揮官長谷川中尉二面会、夫レヨリ先導ニテ桃児山、孤樹子、孫家屯、赫官屯、東孤店、小来戸屯、錢家屯、大平庄ヲ経テ午后九時二家子ニ補充兵宿ス、今朝ヨリ敵凡四十ケ中隊来リ対戦中ナリ

五月十八日 晴天 舎営

敵騎二旅団我前哨線ヲ右翼ニ迂回シ康平県ノ後方ニテ野戦病院及縦列ヲ襲フ、我前面ニハ微弱ナル銃声砲声時々起ル、前日ヨリ佐藤曹長外二名補充トシテ着隊

五月十九日 晴天 舎営

敵騎一万五千第二野戦病院ニ来リ負傷兵及赤十字社ヲ焼失ス、東三合堡ニ聯隊本部ヲ移ス準備ヲ為セリ、第三軍參謀副官先導トシテ法庫門ニ行ク、酒一合及朝日煙草二十本渡ル

五月二十日 晴天 舎営

第二野戦病院ヲ襲ヒシ敵ハ七十ケ中隊昨夜大房身ニ宿営、其敵ハ権子堂、英城子ニ連繫シ其敵ヲ包圍セント新民庁ヨリ後備隊其他ニテ殆ント包圍セリ、第一師団ヨリ連絡ノ為メ歩兵二分隊来ル、大東軍曹太田

軍曹曹長ニ知野繁一等卒ニ昇、聯隊本部ニテ吸キウ歌ヲ聞ク、夫レヲ吉田旅団長少將ハ電話ニテ聞キ居レリ

五月二十一日(日) 晴天 舎營

敵騎包围セルモ北方ニ逃レタリ、今夜二十騎計第二大隊前方ニ来ル、露探五人ヲ捕フ

五月二十二日 晴天 舎營

昨日来敵騎ノ主力ハ西北ニ運動シ昨夕ハ長光子及大秀水下子、ノ中間ニ宿營シ今朝ハ北ニ運動ス、午前九時凡十八ヶ中隊ハ長光子ヲ通行セリ、昨日午后其一部ハ牛其堡子方面ニテ我歩兵ト衝突ス、第二野戦病院ニテ捕虜トナリタル福山軍医以下十六名ノ衛生部員及輪卒ハ残置セリ、又其一集團ハ昨午后公集屯ニアル我後備歩兵一ヶ聯隊ト對戦中、其戦況不明ナルモ今朝ニ至リ長光子ノ南方ヲ前進スル騎兵二旅団ハ大屯方面ニ前進シ長光子ノ敵ト接触ス、遼陽下方ノ敵ハ信スベキ間諜ノ言ニ依レバ大平街ニハ歩兵二百騎兵百砲二門アリ、乱頭營子ニハ騎兵五十遼陽下方ニハ騎兵四百及司令部ヲシキモノアリ、歩兵三百屯在ス、遼陽下方天幕十四其東南ニハ天幕二十一アリ歩兵三百屯在ス、遼陽下方ニハ砲十門及土柵ニ備ヘタル砲アリ(機關砲ナラン)我砲兵旅団中一ヶ中隊ハ東三合堡ニ移ル、夜九時ヨリ長谷川中尉行衛不明ニ付兵九名ヲ率ヒ斥候トシテ東南ニ向ケ進ム

五月二十三日 晴天 舎營

齋藤松太郎ヲ連レ康平県野戦郵便局及第七師団管理部ニ行キ有末曹長面会ス、公集屯ノ敵ハ行衛不明、騎兵第二旅団ハ敵ヲ側面攻撃中ナリ

五月二十四日 晴天 舎營

渡辺大佐外十一名ト共ニ西遼河渡舟場偵察トシテ行ク、補充將校五名到着午後九時我前哨線ニ敵ノ大部隊来リ第六中隊散兵濠ニ就ケリ、本日戦地巡查志願セリ

五月二十五日 降雨 舎營

麻布第三聯隊第十二中隊小田特務曹長ハ連絡ノ為メ南花陽樹聯隊本部ニ来ル、先日來法庫門【消シ・東】西方徘徊ノ敵ハ我軍ノ射撃ヲ受ケ死傷九百ヲ出シ兵一人ニテ馬匹三頭ヲ率ヒ腰股ニ宿シ遼陽下棚ニ向ケ退却

五月二十六日 降雨 舎營

本日ヨリ清語研究会ヲ第一中隊ニテ始ム、敵ノ主力ハ遼陽下方ニ集中シ敵ノ前哨線ハ鮑家堡子、起立屯、東平草、旧堡街ニ亘ル歩哨線アリ、田家下方ニハ騎兵若干アルノミ、本日露探七人ヲ捕フ

五月二十七日 晴天 舎營

午后一時敵五六ヶ中隊大平街ヲ南進ス、其一部ハ東平草ニ止リ居ルモ其運動頗ル緩慢ナリ、露探七人ヲ師団管理部ニ送ル、海軍大勝ノ噂アルモ事實無根ナル旨命アリ

五月二十八日(日) 晴天 舎營

恤兵部ヨリ酒煙草渡ル、海軍海戦開始ノ噂ヲ聞キ各兵躍ル、本夜敵盤二艘沈没トノ噂アリ

五月二十九日 晴天 舎營

午后九時有川參謀官ヨリ、バルチック艦隊全滅ノ公報電話ニテ通報アリ、各兵泣クアリ躍ルアリ夢ニアラサルヤト瓜リタル上等兵アリ(早川)此上モナキ万歳ナリ

五月三十日 降雨 村落舎宮

午前六時第十二回補充員受領トシテ奥野上等兵及知野繁ヲ率ヒ午后二時法庫門第三軍兵站部署、夫レヨリ全街南方村石崗子ニ宿ス、全員百六十四名トス、兵員大半ハ新兵ナルヲ以テ疲労甚シク行軍力モ大ニ減殺セラル、今晚支那人馬舎三門ノ戸ヲ敷キ馬糞ノ温熱ニテ眠ル、実ニ戦地ノ光景ナリ

五月三十一日 降雨 舎宮

午前五時石崗子出発、先導トシテ午后十二時六家子着、行軍里程十二里各兵疲労ニ付軍歌ヲ唱ヒ行軍力ヲ増スト雖モ戦線ニ到着セス途中宿泊ス、公報ヲ以テバルチック艦隊全滅ノ報アリ嬉々トシテ狂セリ

六月一日 雷鳴降雨 舎宮

バルチック艦隊全滅ノ詳報アリ、手紙十五通来ル、小樽新聞ニ小生ノ送リタル馬蹄ノ掲ゲアリ新聞来ル

六月二日 晴天 舎宮

午后五時半頃第三大隊前面東溝下方北方高地ニ向ケ十分間砲撃ヲ為シタルモ我ニ損害ナシ、第二大隊ヨリ海軍大勝ニ付祝賀ノ酒渡ル、本日我小銃ノ為メ敵騎九名即死ヲ目撃ス、本日青森市田中捨二郎君ヨリ左ノ詩送ラル

一笑忽擒三千人 水煙三丈閉日月

前途々遠三万里 英雄眼色其有〔消しい哉〕無

六月三日 晴天 舎宮

早朝ヨリ前日ニ引キ続キ砲声、聯隊長ト共ニ東三合堡及田三合堡ニ行キ吉田少将ニ会ヒ戦線ヲ巡視、敵ノ主力ハ東平房ニ退却其一部ハ西平

房附近ニ停止砲二門ハ三家窩棚附近六門ハ西平房附近高地ニ在リテ我砲兵ヲ砲撃セリ、敵騎ハ「シクタ」ニ現レ東方ニ運動ヲナシ途中ヨリ引キ返シ西家子ニ集中セリ、今夜酒一合煙草二十本菓子二十五匁渡ル、野戦電話ヲ聯隊本部ニ架ス

六月四日(日) 晴天大砂風 舎宮

昨日来ノ敵兵ハ極メテ静肅ナリ「ロシエストウエンスキー」將軍座乗艦駆逐ニテ北方逃走中我陣号ノ為メ捕虜同時ニ幕僚八十四名捕虜英国参謀ヨリ我海戦ニ関シ英帝国ハ同情ノ旨通知アリ、太田曹長及松岡伊三郎帰隊ス

六月五日 晴天 舎宮

午前九時聯隊長ト共ニ四家子、王家風ノ第六中隊前哨ニ行キ前方四千米突敵騎ノ運動スルヲ見ル、又両足負傷ノ敵將馬ヲ見ルニ首ヲ揚ケ余ノ乗馬等ガ帰ルヲ見ル可愛事ナリ、今朝敵騎三十来リ五騎負傷退却セリ

六月六日 晴天 舎宮

秋山旅団ハ午前五時三ヶ中隊及砲三門機関銃三門ヲ率ヒ遼陽窩棚方面へ斥候トシテ出発スルモ異状ナシ、村上上等兵第一大隊ヨリ帰ル、午后十時六家子寺院焼失、此寺ニハ男女突合ノ佛像アリ

六月七日 晴天 舎宮

午后顔々窩旅団司令部ニ行キ午后八太田曹長昇進ノ祝賀アリ、下平看護手来ル

六月八日 晴天 舎宮

遼陽窩棚ニハ敵騎一万、砲二十四門ニテ続々増加ノ模様アリ本日巡查

ヲ願フ

六月九日 晴天 舍營

敵狀異状ナシ正午ヨリ東三合堡第一大隊二行キ祝捷會參列角力、芝居ヲ見江近上等兵酒ヲ呑ム

六月十日 晴天 舍營

午前我歩哨線前ニテ砲声盛ナリシモ未夕何等詳報ナシ午后齋藤松太郎ヲ率ヒ頑々窩樞第一大隊炊事場ニ行キ荷物三個受領ス康平果師團司令部ニテ各聯隊長秘密會アリ

六月十一日(日) 降雨 舍營

敵狀異状ナシ爆彈演習ヲ各地ニテ行ヒ恰モ戰鬪ノ如シ

六月十二日 雷鳴降雨 舍營

敵狀異状ナシ小寺特務曹長ニ面會ス所々ニ手擲爆藥試驗中轟々ノ音終日ナリ

六月十三日 雷鳴降雨 舍營

正午英國參謀本部大佐デミントン及土耳其國參謀本部大佐戰線ヲ視察セラル、本日病氣、酒一合煙草二十本甘味品二十匁菓子パンニ枚渡ル

六月十四日 雷鳴降雨 舍營

各隊トモ手爆藥ノ猛音アリ三円二十錢軍票ニテ渡ル、病氣全快、一昨日敵將ミスチエンコ宛勸降狀ニバルツク全敗詳報ヲ記シ支那人三名ヲ使ヒ送リタルニ本日返信アリ、曰ク遠方送り被下難有多謝其詳細ハ此ノ新聞ヲ見テ御承知被下トノ意味ノ返事來レリ

六月十五日 雷鳴降雨 舍營

今朝絨衣ヲ第一大隊主計ニ送ル日没秋山旅團及當第五中隊ハ遼陽窩棚

夜襲占領ノ目的ヲ以テ雷鳴咫尺ヲ弁セサル中ヲ出發ス我乘馬步兵隊ハ明朝三時出發前記占領ヲ応援スルモノナリ

六月十六日 晴天 舍營

午前〇時遼陽窩棚占領目的ヲ以テ戰鬪開始全七時土耳其觀戰武官步兵大佐左足ニ負傷、午前二時康平果師團司令部ニ行キ第三軍參謀長一戸少將ヲ先導トシテ戰線ニ行ク支那監獄ヲ見ル不潔言語ノ外ナリ軍旗ハ東三合堡砲兵陣地ニ在リ前八時半遼陽窩棚占領、我軍死傷八十敵ハ退路ヲ斷タレ川ヲ渡涉中、側面ヨリ秋山砲兵旅團ノ為メ屍河水ニ流ル愉快ナリ

六月十七日 晴天 舍營

敵騎兵少數ヲ遼河右岸ニ圧迫シツ、アリ今夜各聯隊ヨリ一小隊ノ斥候ニ伝騎二名ヲ附シ派遣ス、前哨中隊ヨリ七家子ニ向テ斥候トナル、酒一合下賜アリ

六月十八日(日) 晴天 舍營

敵ハ去ル十六日遼陽下方退却ノ際新發堡軍橋通過中橋折レ馬匹砲車川ニ落ツ敵ハ遼陽下方東南二千米突ノ村ヲ占領セリ米國武官二名來リ戰線ヲ巡視セリ日本酒ヲ呑ム第七中隊兵支那人毆打取調中

六月十九日 晴天 舍營

夜九時昌凶方面ニ盛ナル砲声アルモ未夕詳報ナシ今朝一円二十錢ニテ鯉二匹ヲ買入ル今夜師團長ヨリ一人ニ付酒一合煙草二十本甘味二十匁ヲ貰フ遼陽下方陣地不利ニテ引揚ク本日受診ス

六月二十日 降雨雷鳴 舍營

本日敵情ハ十六日以前ニ復ス三百田地及遼陽窩棚ニハ砲兵騎兵二千侵

入ス秋山旅団田村旅団ハ不日我軍ノ左翼ニ運動命アリ今夜聯隊本部ニテ蓄音機及祭文ヲ聞ク花陽樹秋山旅団ニテ芝居アリ、ダンゴ汁ヲ食フ昨夜全家屯ニテ敵情強行偵察ノ為メ砲撃ス

六月二十一日 晴天 舎営

敵情異状ナシ午前十一時騎兵第二旅団秋山支隊(花陽樹)芝居アリ全勝座ト称ス其芸ノ結構精熟ナル大阪出帆以來斯ル芝居見タル事ナシ千両ノ価アリ講和ノ噂隊内所々ニ起レリ輪卒梅沢伊彦第二大隊ニ編入ス

六月二十二日 晴天 舎営

午前八時齋藤松太郎ヲ率ヒ康平街ニ出發途中秋山旅団砲兵ノ砲車泥土ニ埋リ兵皆裸体ニテ働クヲ見ル敵騎兵ニ中隊歩兵二十ヶ中隊鉄道ニ沿テ南進ニ付各前哨線ノ警戒ヲ嚴ニス

六月二十三日 晴天 舎営

敵情異状ナキモ我歩哨線ニテ潜伏斥候ノ為メ奇薩克騎兵第十八聯隊上等兵一名射殺ス佐藤曹長岡上等兵馬搜索トシテ馬連屯二十八聯隊本部ニ行ク馬ニ装蹄ス

六月二十四日 晴天 舎営

午前知野繁焔隊ノ件ニ付高家窩棚第十二中隊平大尉ノ事務室ニ行ク白王府ニ敵騎三百南下シ来ル我前面異状ナシ

六月二十五日(日) 降雨 舎営

去ル二十二日鴨緑江軍ニ於テ歩兵二大隊ヲ武近少佐ノ指揮ニ属シ南山城子(英額城東南七八里)攻撃シタルニ敵歩兵三千騎兵若干砲三門死体遺棄七十アリ我死傷下士以下二十、本日酒一合煙草二十本菓子二十勿渡ル

六月二十六日 晴天 舎営

敵情異状ナシ法庫門方面砲兵第十五聯隊実弾射撃中、削髮支那人ハ露探ニ付注意ノ命アリ、聯隊本部ニテ蓄音機及祭文ヲ聞ク講和ノ声高シ、汁粉ヲ食ス、櫃上主計室ニテ美人枕草子ヲ見ル

六月二十七日 晴天 舎営

敵ノ墓幕ハ宝家窩棚、王新立、田家窩棚、ヨリ四間房ニ亘ル線ニアルモノ、如シ又白家窩棚及立木勘円子ヨリ田家窩棚ニ亘リ六ヶ中隊(約九百騎砲四門アリ)又哈摩山泰平街ニ亘リ十八ヶ中隊(凡二千八百騎砲八間)其司令部ハ五家窩棚(遼陽窩棚西北七、八里)ニ在リ全地戸盛家窩棚、立木勘控子ニ電信架設中、来ル二十九日迄高山ニテ砲兵三聯隊光弾焼夷弾ノ試験ヲ行フ、本日ハ昨年十一月ヨリ顔面ニ削刀ヲ当テサルヲ九ヶ月目ニテ削ル本間特務曹長面会ニ行クモ不在

六月二十八日 晴天 舎営

敵情異状ナシ

六月二十九日 晴天 舎営

狩野上等兵伍長昇進関東洲民政庁巡查採用ニ付送別宴ヲ開ク敵異状ナシ

六月三十日 晴天 舎営

今朝未明四家子我第七中隊前哨線ニ敵騎ニヶ中隊来リ野中特務曹長ハ小哨ノ任ニアリ撃退五人ヲ斬首シ屍及軍刀分捕其功ニ依リ渡辺大佐ヨリ白鞘日本刀一本ヲ貰フ狩野伍長朝五時関東洲民政庁ニ向テ出發、本日ヨリ聯隊長直属伝騎ヲ命セラル

七月一日 降雨 警急舎営

午前九時獅子峪、米津少佐ノ前哨及四家子前哨中隊ニ向テ敵ノ砲撃ヲ受ケ正午聯隊全部角面堡及濠ニ就ケリ午后二時敵騎八十ケ中隊ニテ獅子峪第一大隊ヲ包圍セラレ難戰苦闘敵ト距ルコト拾五米突我死傷百四名敵死傷三百ヲ下ラズ日没頃俄雨ヲ利用シ退却小松大尉以下死体收容スル能ズ我兵二十名捕虜トナル渡辺聯隊長ハ此退却及死傷者ヲ見テ泣ク、近江上等兵負傷馬即死

七月二日(日) 晴天 舍營

午前二時当聯隊及歩兵第二十六聯隊一ケ大隊砲兵一中隊ヲ吉田少將ノ指揮ニ屬シ獅子峪攻撃ノ目的ヲ以テ出發、午前四時獅子峪及三盃船占領スルニ敵ハ夜前我負傷兵及即死兵ノ頭面部部切斷及突キ其慘状目モ當ラレズ軍參謀及聯隊長以下戰友一同切齒慷慨泣涕ス、昨夜退却中敵ニ追迫セラレ銃ヲ以テ引キ倒サレタル兵アル程ニ接近シタリ

七月三日 曇天 舍營

本日弧龍山我前哨ニテ露兵一人捕虜正午聯隊長ト共ニ東三合堡及戰線ヲ視察一昨一日獅子峪退却ニ就テ參謀部ヨリ我軍ノ不名誉ナリトテ敵談中獅子峪ハ歩兵一大隊砲四門機関銃三門防備ヲ敵ニセリ本日下痢ニ付受診本日利与ヨリ彈除ケ守毛到着セリ

七月四日 晴天 舍營

午前診察ヲ受ク露探支那人三名ヲ捕ヘ康平街師団司令部ニ送ル、ミスチエンコ將軍ヨリ支那人ヲ以テ書面三通ヲ齎ラセ来ルモ師団司令部ニ送リタルヲ以テ文意ヲ知ル能ス

七月五日 晴天 舍營

歩兵第廿六聯隊ニテ露探三十人ヲ捕フ前面ノ敵ハ羅船口方面ニ退却シ

其一部ハ砲二門ヲ率ヒ遼河右岸河衾附近ニ出沒ス

七月六日 晴天 舍營

敵ハ我右翼秋山騎兵旅団前面ニ大集團運動中ニ付警戒ヲ嚴ニセリ本日野戰馬廠ヨリ戰死馬ノ補充着露探女、男五人ヲ捕フ

七月七日 晴天 舍營

敵ノ司令部ハ遼陽窩棚西北方ニ在リ騎歩兵増加セリ英國中將ハーネツト少佐クルボール少佐ヘラル戰線巡視セラル四家子三合堡間ノ防禦線固守ノ命アリ

七月八日 終日降雨 舍營

恤兵部ヨリ扇子下附、第二回戰歴ヲ出ス露探ヲ捕フ、鉄嶺ニ虎列刺病發生ス敵狀異狀ナシ

七月九日(日) 晴天 舍營

敵狀異狀ナシ、露探ヲ捕フ酒一合煙草二十本甘味二十匁下ル、獅子峪退却將校聯隊長室ニ召集セラル

七月十日 晴天 舍營

佐藤曹長四家子第二大隊本部配屬ス石川輪卒ヨリ、ウドン、ヲ貫ヒ食ス実ニ一ヶ年目トス

七月十一日 晴天 舍營

午前二時ヨリ全四時ニ亘リ第九師団前面ニ敵襲砲声盛ナリ本日ヨリ當六字子及前哨大隊所在地ニ特務曹長ヲ以テ戸口調査及露探ノ警察事務ヲ行ヒ支那語ニ通スル下土ヲ以テ裁判事務ヲ行ヒ有罪ナレバ斬首ス(支那人ニ限ル) 稲田伍長來訪アリ本日禮上主計ヨリ、ミルク、バイナツプ見舞ヲ貰フ

七月十二日 晴天 舎営

午前五時第八中隊佐藤大尉警戒面ニ敵騎七十来襲、酒二合下ル山梨県
東山梨郡松里村小林ケイ子ヨリ紙包慰問袋分配アリ本部ニテ蓄音機ヲ
聞ク、午后九時第九師団前面ニ砲声ニ発アリ、第十三師団十日樺太コ
ルサコウ上陸砲四門鹵獲ノ報アリ

七月十三日 晴天 舎営

敵異状ナシ炎天焼クガ如シ狩野伍長ヨリ通信アリ六家子舎営司令官中
溝少佐トス

七月十四日 晴天 舎営

午前六時東三合堡ニテ各団隊長会議ニ付聯隊長ト共ニ行ク途中、六家
子、本防禦線五百米突前方高丘堀下工事第二大隊ニテ行フヲ見ル今夜
新盆ニ付酒及鈴木上等ウドン、ヲ打チ食ス大阪出帆以來初テ食ス

七月十五日 大風雨 舎営

大風雨歩哨ハ困難中、近江上等兵ニミルクヲ送ル本日汁粉ヲ食ス

七月十六日【消し…五】六日(日) 晴天 舎営

敵ハ遼河右岸ニ僅カ砲二十門騎兵若干他ノ主力ハ八面城方面ニ迂回
中、鉄嶺及開原ニ悪疾流行ニ付各自注意アリ

七月十七日 晴天 舎営

午前十一時露探支那人三名ハ四家子ニ於テ娘一人妻二人ヲ強姦中ナル
ヲ日本兵通行ニ一老人訴へ来リ日本兵捕縛当本部ニテ強問ス藤本專作
軍曹宿舎ニ行ク

七月十八日 晴天 舎営

十三師団ハ、コルサコウ北方十八里ニ前進ノ報アリ參謀總長旅順巡視

ノ報アリ、清国官兵季氏小隊長露探嫌疑ニテ從卒一名ヲ許シ康平ナル
師団司令部ニ太田曹長以下五名ニテ押送ス敵ハ我左翼ニ迂回中

七月十九日 晴天 舎営

聯隊旗手渡辺福次少尉、中尉昇進第十中隊附少尉菅忠三郎旗手ヲ命セ
ラル敵ハ左翼ニ迂回中昨夜第三大隊將校一同宴会アリ

七月二十日 晴天 舎営

午前九時四家子南方森林中ニテ騎兵旅団、長谷川少佐ノ哈爾濱方面敵
地深く偵察講話及蒙古王拜謁話中敵騎五十来リタルモ撃退ス本日敵ヨ
リ書状来ル文ニ曰ク近頃交戦ナキニ付暇ナルヲ以テ来遊シ呉レトアリ
昨我騎兵ヨリ敵歩哨線ニ日本美人絵はがきヲ置キタル処又敵ヨリ美人
絵はがきニ枚送り来リ敵歩哨ハ我騎兵ニ捧銃ノ礼ヲナシテ笑フト云フ

七月二十一日 降雨 舎営

午前獅子峪戦死者遺骨送還式ニ沓々窩棚林中ニ行ク僧侶青山雄元外一
人ナリ將校ニハビール饗応アリ吉田少將葬式参列アリ兵員一同泣ク

七月二十二日 降雨 舎営

午后二時第一旅団副官及第三聯隊副官ト共ニ交代陣地偵察ス歩兵第
二十七聯隊乗馬歩兵長尾助次来ル終日酒ヲ呑ム四家子前哨ニテ佐藤曹
長ト酒呑ム本夜酒一合煙草二十本甘味品二十匁下賜セラル

七月二十三日(日) 降雨 舎営

午后敵騎三百、三百田地ニ出没ス明日第二聯隊ト交代ニ付多忙ナリ
沓々窩棚ニテ軍樂隊ノ奏樂アリ、日本馬賊ノ馬逃亡ニテ搜索中、種子
ヲ日本ニ送ル

七月二十四日 大降雨 舎営

午前十時歩兵第二聯隊ト陣地交代、四家子、燕窩、沅々窩棚、砂山ヲ
經テ午后七時趙家窩棚聯隊本部着本日敵騎四十前面ヨリ又二百、右側
ヨリ我方斥候ニ向テ射撃本日ヨリ警戒面僅少ニシテ第十二中隊ヲ前哨
ニ出シタル俣ニテ他ハ予備隊トナリ人馬ノ疲労ヲ休養ス

七月二十五日 曇天 舍營

第三軍司令部ヨリ軍樂隊來リ譜中ニハ旅順ノ箱入娘及凱旋、各兵夫レ
ヲ聞キ歡聲盛ナリ其中ニハ涕泣ノ兵モ見受タリ昨夕ヨリ聯隊本部ニ宿
ス師団司令部芝居アリ

七月二十六日 降雨 舍營

敵狀異状ナシ旅順箱入娘ノ譜ヲ習フ本間特務曹長ニ面会ニ行ク第四中
隊ニテ動員一周年芝居準備中、三宅曹長二十一日特務曹長昇進面会ニ
來レリ

七月二十七日 時々降雨 舍營

聯隊長ト共ニ前哨線ヲ巡視ス午后第一大隊ニテ將校ノ宴会アリ本間特
務曹長指揮ニテ大沼ヲ干シ魚ヲ捕フヲ見ル

七月二十八日 時々降雨 舍營

敵狀異状ナシ本日芝居、角力、茶店ノ小屋掛ケ中、樺太島アレキサン
ドル港北方ニ上陸ノ会報アリ

七月二十九日 雷鳴降雨 舍營

未明三百田地方向ニ銃声アリ多分十四旅団將校斥候ノ衝突ナラン紀念
祭芝居角力興行場及茶店建設中

七月三十日(日) 降雨 舍營

敵狀異ナシ六家子苦力ニ金五円ヲ与フ聯隊長ト共ニ八家子第三大隊本

部ニ行ク第四中隊ニテ芝居稽古中ナリ敵ノ運動ヲ見テ芝居準備実ニ愉
快ナリ

〔7/31なし〕

八月一日 雷鳴降雨 舍營

午前聯隊長命ニ依リ薫家窩棚ニ至リ第七中隊長須賀大尉召集伝騎帰途
洪水馬泳ク、酒ニ合煙草二十本菓子二十匁下給、紀念祭準備中

八月二日 晴天 舍營

午前吉田少將、師団參謀、聯隊長、歩哨線巡視、洪水馬腹ヲ没シ前哨
第十二中隊電話線切断セラル水ノ為メ紀念祭ノ芝居準備出來ス

八月三日 晴天 舍營

明日紀念祭ニ付殊更繁忙ヲ極ム前哨第十二中隊交代ス師団參謀渡河ノ
先導ヲ命セラル工兵ハ本日ヨリ架橋着手、煙草四十本酒ニ合菓子二十
匁渡ル

八月四日 晴天 舍營

本日ハ動員一周年記念祭ニテ芝居角力、土俵入り中ニ渡辺大佐式場写
真ヲ撮ル、志るこ屋アリ午后聯隊長ト共ニ孔宗窩棚第二大隊式場ニ行
ク興行トシテ滿洲シル粉屋アリウドン屋料理屋アリ盛会ナリ午后七時
ヨリ宴会アリ

八月五日 晴天 舍營

午前十一時聯隊長ト共ニ康平県第七師団司令部ニ紀念祭ニ参列ス本日
侍從武官渡辺中佐慰問使トシテ來駕アリ各聯隊ヨリ壯士、株ツギ芝居、
角力選抜ニテ興行盛ナリ

八月六日(日) 晴天 舍營

放化堡子ニハ是迄斥候ノミナリシガ騎兵一ケ中隊増加他ニ異状ナシ鴨

緑江二軍橋架設トノ密報アリ日没頃聯隊長一同写真ヲ撮ル侍従武官叭
吋屯ヨリ第九師団二行ク

八月七日 晴天 舎営

久振ニテ利与子ヨリ手紙来ル、蹄鉄改装、軍歌教育中、午前將校一同
ヲ聯隊本部ニ召集侍従武官慰問ノ聖旨ヲ説示セラル

八月八日 晴天 舎営

午前波拉戸焼第一大隊ニテ装蹄劍持大尉二十六聯隊ニ転任ス敵ハ最左
翼二五六百迂回セルモ橋口中佐ノ率ユル馬賊ノ為メ撃退サル所々ニ爆
薬演習中

八月九日 晴天 舎営

午前六時未夕寢床ニアル時前哨ヨリ出タル斥候及独立下士哨猛家窩棚
及鶉家窩棚附近ニ敵騎五十余斥候トナリ来リテ一声射撃及銃声盛
ナリノ西荊家虻子ニテ難敵苦闘セリ

八月十日 晴天 舎営

夜明ヨリ南嶺方面ニ砲声盛ナリ(多分爆薬演習ナラン)今朝タ々街ニ
將校斥候派遣ス

八月十一日 曇天 舎営

敵状異状ナシ第三軍ヨリ講和見込ナキ旨密報アリ

八月十二日 晴天 舎営

敵騎二中隊八方屯ニ来リ砲撃午后六時前哨面ニ彼我斥候衝突銃声起ル
本夜聯隊本部西側ニテ敵前盆踊リヲナス

八月十三日(日) 晴天 舎営

聯隊本部西側樹下ニテ(趙家窩棚)本願寺従軍僧ノ精神講話アリ本日

盆ノ十三日ナルヲ以テ第三大隊長中溝少佐ヨリ、ダンゴ、ヲ貰ヒ酒吞
ム我乗馬歩兵隊ニテモ、ダンゴ、ヲ作ル

八月十四日 晴天 舎営

聯隊長ト共ニ沅々窩棚十三旅団司令部ニ行ク歩哨線ヲ巡視ス西瓜及
ビール吞ム盆十四日ニ付各宿營地賑カナリ講和談判ノ新聞ヲ読マント
捜セリ

八月十五日 晴天 舎営

渡辺聯隊長ト共ニ師団參謀部ニ行ク支那婦人写真ヲ貰フ

八月十六日 晴天 舎営

午后六時第十六回補充員二百六十八名到着炎暑ノ為メ兵員疲労甚シク
支那人軍用紙幣七万円偽造ニ付注意ノ命アリ目下第四野戦病院大連ヨ
リ輸送中

八月十七日 晴天 屋上ニ寝ス

午后哈拉戸焼第一大隊ニテ下士団宴会参列ス芝居及興行ヲ見ル

八月十八日 晴天 舎営

敵ハ砲五門ヲ率ヒ我左翼ニ迂回運動中今晚聯隊本部ニテ新購入ノ蓄音
器ヲ聞ク(三百二十円)川合特務曹長ヨリ絵端書送ラル

八月十九日 晴天 舎営

午前第三大隊駄馬撲殺ス午后哈拉戸焼ニテ獅子峪戦鬪ノ感状授与式ア
リ、第三大隊長中溝少佐憤慨ス、興行ニ角力、蓄音器アリ、酒及煙草、
菓子下給品アリ

八月廿日(日) 晴天雷鳴 舎営

午后聯隊長ト共ニ八家子第三大隊本部ニ中隊長會議ニ列席、日本兵昌

図方面ニテ強姦中、支那人ニ撲殺ノ会報アリ

八月二十一日 小雨 舎營

左足診断ヲ受ク第二大隊下士団ノ宴会アリ第十四師団ヨリ連絡斥候来ル香川県ノ兵ニ会フ、康平県ニ芝居アリ

八月二十二日 晴天 舎營

負傷休業、本日聯隊長ノ檢閲ヲ宿營地及本部ニテ行フ〔消し…其〕聯隊旗手余ノ馬ニ乗ル

八月二十三日 晴天 舎營

頑々窩棚第十三旅団司令部ニテ園遊会アリ中隊長以上饗応ス本夜恩賜ノ酒ヲ呑ム

八月二十四日 晴天 舎營

明日檢閲準備ニ忙殺セラル茶場及東家風流ナル日本内地ニテ得難キモノヲ作ル講和談判ノ如何ニ拘ラズ、哈爾濱^{ハルビン}攻撃ニ北進準備完成ス負傷殆ント全快ス

八月二十五日 晴天 舎營

師団長不時檢閲午前第三大隊午后第一第二大隊吉田少将及各參謀共急造東家ニテ昼食ス其料理及家ノ構造方東京ニモ稀ナリト賞セラル敵騎百五十東平房ニ出沒彼我將校斥候衝突ス

八月二十六日 晴天 舎營

午前金家屯方面ニ連発砲声ヲ聞キ敵ナラント思フ処第四師団ノ演習ナル旨、乃木軍司令部ヨリ通報アリ負傷全快、手袋給与アリ聯隊長哈拉戸燒ニ行カル講和談判不調警戒ノ命アリ

八月廿七日(日) 晴天 舎營

診察ヲ受ケズ架橋縦列架橋中斬漁盛ンナリ利与興ヨリ一ヶ月以上手紙来ラズ余ノ經濟訓ニ反対ナラン困難ナラン

八月廿八日 晴天 舎營

秋山騎兵旅団白玉府敵情偵察トシテ砲二門機關砲三門ヲ率ヒ出發、露探ノ為メ前哨間ノ電話切断セラル

八月廿九日 晴天 舎營

敵情異状ナシ負傷殆ント全癒ス本間特務曹長ト共ニ第四中隊ニテ酒ヲ呑ム恤兵部ヨリ給ハガキ十五枚下給

八月三十日 晴天 舎營

露国間諜五六十名長春ヲ発シ我歩哨線内ヲ探ラントシテ三十名ヲ捕フル旨軍參謀ヨリ通知アリ第三大隊馱馬斃死ス

八月三十一日 降雨 舎營

敵斥候乱集街ニ出沒スルヲ以テ午后將校斥候トシテ乱集街附近派遣日暮帰還ス報告ニ曰ク敵騎ナキモ其前方ニハ若干敵宿營セルモノ、如シ酒煙草、菓子渡ル

九月一日 曇天 舎營

午前一時第八中隊ニテ飲酒ノ上喧嘩上等兵一名横腹ニ、ナイフ、ヲ突キ殺サル敵騎兵歩哨線前ヲ徘徊ス

九月二日 晴天 舎營

午前前哨ヲ第十中隊ト第五中隊交代午後第十三旅団副官大嶋中尉日本ニ遷送ニ付聯隊長及旗手ト共ニ吠吠野戰病院キ黑鴨屯ヲ通過ス

九月三日(日) 晴天 舎營

午後聯隊長ト共ニ掩濠及八家子防禦地ヲ巡視ス午前予備鉄ヲ合ス歩

二十六聯隊高立山、前哨ニテ歩哨一人敵ノ為メ捕虜トナル

九月四日 晴天 舍營

未明、南鵜河高棚方向ニテ一声射撃、又、獅子峪歩^{ムマ}二六聯隊前哨ニ小戦闘アリ、蓄音器ヲ聞ク那須ヨリ節^マ写真来ル

九月五日 晴天 舍營

午前二時二十分第九師団第三野戦病院ニテ捕虜一名逃亡ニ付歩哨線注意ノ旨全四時參謀部ヨリ電話アリ講和説紛々トシテ元氣ヲ増セリ聯隊長代理トシテ、フハントン村長病床ニ見舞ニ行ク

九月六日 晴天 舍營

講和成立ノ噂高キモ未明斥候衝突銃声盛ナリ

九月七日 晴天 舍營

午前九時聯隊長ト共ニ砂山ヲ経テ前哨第五中隊南鵜高棚ニ行キ敵集合セルヲ見ル聯隊長ヨリ講和成立ノ話ヲ聞ク各兵歡喜ス夜九時聯隊長ハ小村全權大使講和条件輕率ニ成立ナルヲ以テ立腹ノ余リ新聞及写真附録ヲ破棄スベキ命アリ酒ニ合煙草二十本菓子加給アリ

九月八日 晴天 舍營

吉田少將、聯隊長ト共ニ師団司令部ニ行キ秘密会アリ中島上等兵関東洲民政署巡查ニ採用サル講和成立噂紛々タリ昨夕双眼鏡ヲ紛失ス七月一日ヨリ本日迄ノ戦歴ヲ出ス

九月九日 晴天 舍營

午前五時聯隊旗手管少尉ト共ニ康平街齒科医ニテ奥齒ヲ抜ク、八家子軍橋通り船式ヲ拳行ス中隊長以上橋上ニテ写真ヲ写シ宴会アリ講和話ニテ各兵狂々タリ

九月十日(日) 降雨 舍營

第二大隊爆薬演習ノ処降雨ノ為メ取止講和説高キモ未夕発表ナシ

九月十一日 晴天 舍營

午前九時聯隊長ト共ニ東下凹子ニ於テ手投爆薬演習見学トシテ出張敵状異状ナシ

九月十二日 晴天 舍營

第三大隊爆薬演習ヲ行フ講和成立ナルモ休戦ノ命ナシ敵ハ東平房附近ニ出没ス我間諜ノ言ニ依レバ敵ハ大平街集中、分列式ヲ行ヒ講和成立ヲ嬉ヒ居ルトノ事

九月十三日 晴天 舍營

午后四時敵騎砲兵斥候五十獅子峪北方ヨリ蘭集街ニ入ルヲ見ル大山滿洲軍司令官ヨリミスチエンコ將軍ニ休戦ノ書面ヲ送り月日ヲ定メ会見ノ通告ス露探九名歩哨線外ニ放逐ス酒煙草菓子加給サル

九月十四日 晴天 舍營

師団參謀ヨリ敵ハ遼河右岸ニ増兵ニ付各前哨線ヲ注意ノ命アリ午後二時来ル十六日正午ヲ期シ全線休戦ノ命アリ間諜ノ言ニ依レバ去ル九日遼陽窩棚ニ敵歩兵一千重砲四門前進ニ付休戦ト雖モ警戒ヲ嚴ニスベキ命アリ

九月十五日 曇天寒シ 舍營

正午ヨリ聯隊長ト共ニ沅々窩棚第十三旅団司令部ニ行キ築山ニテ閣下一同写真ス帰隊ノ上、渡辺大佐小生寺田、両羽、堀江、ト写真ス技師ハ金田上等兵ナリ

九月十六日 晴天 舍營 六十二度

正午日露兩軍全線休戦、東京市民休戦不平大騒乱ノ電話アリ

九月十七日(日) 晴天 舎営

来ル二十三日康平街ニテ第七師団招魂祭ノ樂隊演習中

九月十八日 晴天 舎営

午后一時ヨリ趙家窩柵聯隊本部後方高地砲兵陣地ケンシヤウ上ニ於テ富山、羽山、鵜飼、鈴木、奥野、西、大月、佐伯、武田、土屋、堀井、

十一名東方花陽樹及六家子北方敵ノ集団地及歩哨線ヲ遠望シツ、飲酒ス当高地ハ昨日迄地獄今ハ宴席実ニ戦況当時ヲ追懐セリ

九月十九日 晴天 舎営

恤兵品トシテ、シラメ紐、飴、端書、支給セラル

九月二十日 晴天 舎営

午前東下凹方第三中隊山寄上等ノ元ニ行ク途中哈拉戸焼ニテ野外演習

中面会ス午后被服之件ニ付高橋主計ノ元ニ談判ニ行ク休戦ト雖モ何時ニテモ不時召集ノ準備命アリ

九月二十一日 晴天 舎営

午后一時ヨリ殊勲ノ件ニ付各中隊長及大隊副官参集會議絨衣渡サル

九月廿二日 晴天 舎営

聯隊長ト共二十二中隊及第三大隊午后第一大隊医務室ニ行キ午后十時帰隊ス、服出来ル

九月廿三日 晴天 舎営

午前七時軍司令官乃木中将御迎トシテ獅子峪ニ出張午后七時新架橋通過八家子ヲ経テ康平街ニ行カル三等艦ノ沈没ヲ聞キ一般兵慷慨措ク所ヲ知ラズ

九月廿四日(日) 晴天 舎営

午前七時軍旗ト共ニ聯隊本部出發、康平街第七師団司令部所在地ニ行招魂祭ニ参列十時式終ル興行トシテ軍樂隊、競馬、芝居、ネリ物、飾リ物何レモ人目ヲ驚ス計リナリ康平県知事及支那紳士ヲ招待ス実ニ盛会ナリ米國新聞記者頻リニ写真ヲ撮ル

九月廿五日 晴天 舎営

前日ニ引続キ招魂祭正午ヨリ競馬、角力、手踊リ其他興行ヲ見ル第十八回補充員到着近江谷上等兵面会塩田茂平ニ会イ羽部君ヨリノ贈物ヲ受ク

九月廿六日 曇天 舎営

安達大尉、渡辺中尉ニ馬ヲ貸ス異状ナシ

九月二十七日 晴天 舎営

午后哈拉戸焼經理室ニ長靴修理ニ行キ襦袢ノ継キ切レヲ貰フ敵状異状ナシ

九月廿八日 晴天寒 舎営

未明休戦中ナルニ歩哨線ニテ射撃アル旨前哨中隊長ヨリ電話アリ凱旋噂高シ

九月廿九日 晴天寒 舎営

午前九時ヨリ唐家窩柵ト八間房ノ中間砂山ニテ砲兵ノ実弾射撃ヲ見学正午帰隊

九月三十日 晴天 舎営

午前十一時敵騎五十獅子峪前方高地西麓ニ頭レ北方ニ退却、本日ヨリ風病ニ付酒ヲ熱沸シテ呑ム

十月一日(日) 晴天 舎営

日本ニ凱旋シテ施行スルヲ引上ゲ当聯隊各宿营地毎ニ大慰勞会ヲ行フ
八家子第三大隊ニ参列種々興行アリ中溝少佐桐上ゲ其裝飾ノ美ナル実
ニ潢々タル蒙古ノ荒野トハ思ハレズ

十月二日 晴天 舎営

敵状異状ナシ第一大隊ニテ將校ノ宴会ヲ行フ本日第六中隊ト第八中隊
前哨ノ交代ヲナス下平看護手ト飲酒ス長谷川中尉太田曹長鈴木上等兵
先発

十月三日 晴天 舎営

午后ヨリ各大隊長及中隊長以上聯隊本部集合凱旋之件ニ付協議ス由良
一馬、関又一ニ面会ス

十月四日 晴天 舎営

午前秋田洋服店員来ル佐藤喜作岡崎、渡辺外二名上等兵昇進ス安達大
尉外二名帰還ス

十月五日 降雨 舎営

本日二日酩^マノ為メ休業、渡辺聯隊長ハ伝騎ヲ連レズ哈拉戸焼第一大隊
本部ニ行ク講和条約昨日枢密院通過ノ秘電アリ

十月六日 晴天 舎営

本日両親ニ高粱種子ヲ送ル敵状異状ナシ

十月七日 曇天 舎営

午前聯隊長ト共ニ馬家窩棚第四野戦病院ニ行ク藩少尉病況重ク見込ミ
ナシ落胆ス錦織経三郎軍医ニ面会ス

十月八日(日) 降雨 舎営

本日聯隊本部ヨリ乗馬步兵隊ニ帰ル、三宅特務曹長骨折第四野戦病院
入院ノ報アリ来ル十五日ヨリ第七師団凱旋ノ為メ南進之命アリ

十月九日 曇天 舎営

午前九時半趙家窩棚聯隊本部出發、三台子ニテ聯隊長乗馬足ヲ痛メ彈
藥大隊ノ馬ヲ借ル、山村工長ニ面会午后四時法庫門着、万里長柵ヲ
見ル

十月十日 晴天 舎営

支那祭式飛龍会行列及人民ノ正装ヲ見ル、大房身兵站病院ニ行キ堀江、
西、上等兵面会伴少尉危篤ノ病況ヲ見ル、法庫門支那遊廓ヲ見ル

十月十一日 晴天 舎営

午前十一時法庫門出發、万里長柵ヲ越ヘ三台子彈藥大隊ニテ昼食、康
平街ヲ経テ、北海タイムス森笛川ト共ニ午后五時帰隊本夜酒一合煙草
四本草子ノ加給アリ

十月十二日 晴天北風寒

降雪模様アリ蒙古ノ不思議ナリ

十月十三日 晴天 舎営

午前哈拉戸焼經理室ニ行足布二十八人分ヲ受取、本夜ウドン食ス蒙古
第一ノ咄物ナリ吉田少將閣下来ル

十月十四日 大降雨 舎営

伴少尉大房身野戦病院ニテ死亡

十月十五日(日) 曇天 舎営

午后二時董家窩棚小丘上ニテ伴少尉遺骨還遷式アリ中溝少佐弔詞ニ一
同涕泣ス

十月十六日 晴天 俠宿舍營

午前五時康平街兵站部ニ支那車両受領ノ上孤樹子ヲ經テ大房身、兵站病院ニ至リ午后五時法庫門着、今朝ヨリ凱旋ノ途ニ就ク、騎兵二名法庫門遊廓ニテ淫水、出ル出ントノ争ヨリ遊興費ヲ取り戻ス

十月十七日 晴天 舍營

午前八時法庫門発、季貝堡ヲ經テ午后三時半大孤家子兵站部着、乗馬ノ疲労甚シ厩舎良ナリ

十月十八日 晴天 俠宿舍營

午前八時大孤家子発、大嶺ヲ左ニ見テ午后二時三面船兵站部着当地ハ本春占領セシ古戰場東南一里ニテ石佛寺、古戰場ヲ望ミ戦況ノ惨ナルヲ回顧ス

十月十九日 降雪 舍營

前八時三面船出發、本年三月当聯隊ニテ占領セル石佛寺ヲ經テ遼河ヲ渡リ猛家台及鐵路堡ヲ經テ午后五時三台子着旧鉄道線路ヲ越ユル際、達子堡戦闘ヲ回顧シ戦友ノ死ヲ追回シ涕泣ス、三月以來始テ汽車ヲ見ル

十月二十日 晴天 舍營

午前九時公用ニテ鉄炉舖郵便局ニ行ク今夜下痢七回寒氣強シ

十月二十一日 晴天 舍營

聯隊本部張替設計中下痢病ニテ腹患ク困難ス

十月二十二日(日) 晴天 舍營

前十一時新城子駅発、虎石台及文官屯ヲ經テ奉天着ノ上、下土宿舎ニテ食事、奉天城内ニ行キ城柵及市街ヲ見ル去ル十六日講和比準交換ノ

揭示ヲ見ル下痢止マズ

十月二十三日 晴天 舍營

奉天西本願寺慰問所ニ行キ、ノズキ、及新聞雜誌ヲ見其完備セルヲ感ズ午后二時奉天駅発后七時三台子駅着ノ上、入浴ス

十月二十四日 晴天 舍營

胃腸病ニテ食事ニ困ル聯隊本部掃除ス

十月二十五日 晴天 舍營

聯隊本部浴室及乗馬歩兵浴場ヲ作ル午后ヨリ宮越軍医ト共ニ三家子土人病人往診セリ入浴ス

十月二十六日 晴天 舍營

聯隊本部厠、甲、乙ヲ作ル凱旋軍隊輸送中

十月二十七日 晴天 舍營

聯隊本部長谷川中尉怒リ支那人毆打ス乗馬歩兵隊厠ヲ作ル

十月二十八日 晴天 舍營

聯隊本部室内及厩舎ヲ作ル、自ヒエ病起リ夜中三四回便所ニ行キ寒氣激シク困難セリ

十月二十九日(日) 降雪 舍營

午前七時乗馬歩兵宿舍移転ス猿股七十銭ニテ買フ

十月三十日 晴天(大風) 舍營

午后三時聯隊本部及乗馬歩兵隊、第二大隊第三大隊到着ス第二大隊煙台窩棚第三大隊大黒大子宿營ス

十月三十一日 晴天大風 舍營

午前石佛寺兵站部ニ行キ伝騎トシテ書面ヲ伝達シ本年三月宿舎セシ支

那人家族ニ面会シ互ニ喜ブ本日第一大隊全部到着ス聯隊本部ト乗馬歩
兵隊間ニ電話架設ス

十一月一日 晴天 舍営

午前八時聯隊長命ニ依リ来ル天長節分列式場調査ニ行キ午后会報ニ行ク児
玉徳太郎閣下卒去ノ報アリ

十一月二日 晴天 舍営

午前支那馬匹検査ヲ佐藤獸医行フ天長節準備之為メ多忙ナリ本夜降雨
アリ

十一月三日 晴天 舍営

午前八時天長節式典之為メ灰土崗南端原野ニ集合シ予行演習之上、十
時ヨリ式開始去ル十月十六日陸海軍ニ下シ賜ハリタル勅語奉読ノ上分
列式及滿洲軍司令官ヨリ下サレシ訓示ヲ各中隊長ニ下シ同式場ニ支那
兵ノ來賓旗幟ヲ立テ參列セリ午后聯隊本部ニテ將校及近郷支那紳士招
待大宴会ヲ行フ乗馬歩兵隊ニテモ大ニ酒宴ヲ開キ祝意ヲ表ス

十一月四日 晴天 舍営

第一大隊經理室ト宿舍交代ス本日会報ニテ天長節ニ付兩陛下ヨリ金拾
万円ヲ陸海軍々人ニ酒肴料トシテ賜ハリタリ

十一月五日(日) 晴天 舍営

本日厩舎新築ニ多忙ヲ極ム防寒用毛皮及外套メリヤス支給セラル

十一月六日 晴天 舍営

厩舎及浴場ヲ造ル新兵教育ノ為メ當聯隊ヨリ將校六名下士十四名補充
隊ニ帰還出發、本日ウヅン食ス午后九時佐藤曹長ト共ニ白菜台鍋ニテ
五十銭酒ヲ呑ム苳屋喇叭長ヨリ招待アルモ行カス

十一月七日 晴天 舍営

記念端書三枚支給セラル佐藤曹長ト五十銭酒ヲ呑ム

十一月八日 晴天 舍営

午前八時聯隊長ト共ニ奉天城及奉天背面古戰場巡視ヲ命セラレ乗馬ニ
テ出發、包道屯ニテ昼食ノ上、三白子南方ニテ第七師団戦死者(奉天)
招魂碑写真ス北陵、森林中ニテ二十八聯隊ノ三月十日決死隊ノ外套ヲ
発見ス北陵宮城拝覽其裝飾及古物ト且ツ堅固ナルニ驚ク午后七時奉天
停車場田宮兵站司令部着ノ上、宿舍ニ附ク

十一月九日 晴天 下士集会所舍営

午前六時ヨリ滿洲軍總司令部及軍政署ニ渡辺大佐ト共ニ行キ許可証ヲ
得奉天旧城内ニ入り裝備及飾觀ヲスルニ衰退ノ状態ニ驚ク尚又宝物庫
ニテ金剛石及青玉ノ花餅、シンジュ石ノ登リ龍入りノ刺シユ衣類一枚
七百万円ナルニ驚ク一円ニテ支那マイマイ第六十一聯隊第三大隊酒保
員ト談判ス大勝利セリ

十一月十日 晴天 舍営

前八時奉天停車場出發、小寒屯、八家子、転瀉橋、各古戰場ヲ巡視シ
八家子畑中ニテ三月八日苦戦ケ所ニテ渡辺聯隊長紀念ノ糞セラル、八
家子墓地松樹彈痕ヲ檢スルニ壹本ニ付小銃彈丸百八十六種散彈二発名
中シアリ難戦苦闘ノ状態スルニ余アリ全所ニテ埋没露兵ノ蓋骨【抹消:
頭レ】露ハレ居ル一個ヲ聯隊長命ニテ寺田上等兵掛ケ帰レリ当地ハ當
聯隊ノ尤モ難戦セシ結果占領セル地ナルヲ以テ無量ノ感ニ堪ズ午後五
時帰隊本日十銭宛酒肴料下賜セラル

十一月十一日 降雨 舍営

本日慰勞休日來ル十三日内地港灣出發紀念準備中ナリ

十一月十二日(日) 降雨 舍營

早朝ヨリ來ル十三日宴会準備中午後七時ヨリ鉄炉舖通信部ニ行キ札幌補充大隊ニ電信ヲ發ス酒保ニテ一円五十錢ノ鶏卵ヲ買フ(十錢ニ付四個)宴会役割料理係真嶋、奥野、寺田、各上等兵テンブラ係渡邊上等兵、ウドン係堀井伍長、高薄上等兵、鈴木上等兵、器物借入村上上等兵、雜役鈴木、梅沢、齊藤輸卒、夜十二時迄料理及裝飾ニ従事ス

十一月十三日 晴天 舍營

午前五時起床、宴会準備、正午開會、來賓演説、堀井伍長開會之辭、夜二入りテ山本、野村両大尉來會、十一分ノ盛會ヲ極ム、蓄音器アリ、夜十一時散會、実ニ入營以來ノ大盛會ナリ、三十九人ニ対シ七十円ノ會費ナリ

十一月十四日 晴天 舍營

早朝ヨリ宴席及器物ノ整理、昨日大東曹長ト喧嘩ス、滝口三木次ヨリ通信アリ、本日野戰電話全通ス

十一月十五日 晴天 舍營

本日ウドン打ツ、支那兵來リ三味線ノ興行ヲ聞ク

十一月十六日 晴天 舍營

聯隊長官用トシテ八間房第六中隊大塚大尉ノ元ニ行キ帰途灰土崗子ニテ近江谷米太郎君ニ面會ニ行ク

十一月十七日 晴天 舍營

午前一時參謀部ヨリ電話ニテ本日陸軍大臣ヨリ諸官員並ニ陸海軍二休暇及清酒一合ヲ賜リタルニ付休日トス、澤村祐輔ヨリ初メテ通信アリ

十一月十八日 降雨 舍營

午前佐藤獸医來リ乘馬検査ヲ行フ、本日ハ昨 year 大連上陸紀念日ニ付戰友ト古事ヲ追懷シ飲酒、本日酒ニ合煙草四十本菓子三十匁下給アリ、午後十一時寢ニ付カントスル頃ヨリ大連上陸紀念ニ付午前四時迄上等兵八輻重三ト共ニビール二十二本沢龜酒二本午前二時鈴木上等兵ウドン打チ十一分ノ宴ヲ開ケリ

十一月十九日(日) 晴天 舍營

昨夜ノ宴會ニ勞レ十一時起床、本日將校集會所ニテ聯隊本部及下士ノ宴會ヲ行フ

十一月二十日 晴天 舍營

午后奥野上等兵外三名ト共ニ六玉屯ヲ經テ新城子停車場ニ行キ第三師團ノ凱旋列車ヲ見惹シキ感アリ

十一月二十一日 晴天 舍營

佐藤曹長ト酒ヲ飲ム、入浴ス、午後十一時ヨリ真嶋上等兵公用ニテ奉天ニ出張ニ付ビール三本及酒宴、二時半ヨリウドン打チ坊主ノ真似ヲ為シ放歌、午前四時半赤羽根上等兵ノ沸カセシ入浴ス、十二分ノ酒宴ヲナシ午前五時半寢床ニ付ク

十一月二十二日 晴天 舍營

真嶋上等兵奉天出張ス、高橋主計ニ荷物ヲ頼ム可ク談判ニ行ク

十一月二十三日 晴天 舍營

午后渡辺大佐ノ命ニテ佐藤大尉久保田大尉壇上主計ノ戰歴ヲ取りニ行ク、荷物ヲ第二大隊ニ依頼ス、去ル十七日譽名ノ休日ヲ賜リタルモ其主旨ヲ知ラザリシ処本日ニ至リ 聖上陛下伊勢大廟ニ參拜ノ御日ナル

事ヲ承知セリ、家主ノ陳上林ヨリ奉天ノ土産トシテ梨子及栗ヲ貰フ

十一月二十四日 晴天 舎營

午前荷物還送之件ニ付校塔湖第五中隊小寺特務曹長ノ元ニ行ク、荷物ヲ檀上主計ニ依頼ス

十一月二十五日 晴天 舎營

功績調査中多忙ヲ極ム、夜酒ヲ飲ム

十一月二十六日(日) 晴天 舎營

午后十三旅団司令部及師団副官部ニ行ク、本日ハ昨年吾戦友ノ松樹山補備砲台夜襲ノ記念日ナルヲ以テ飲酒ノ上、無量ノ感アリ、利与ヨリ増毛火災ノ通信アリ

十一月二十七日 晴天 舎營

午后渡辺聯隊長伝騎トシテ鉄炉舖野戦郵便局ニ行ク、帰途第十三旅団司令部ニ寄り大島副官ニ面会ス

十一月二十八日 晴天 舎營

増毛ニ火災見舞状認中記事ナシ

十一月二十九日 晴天 舎營

午前寺田上等兵入院、午后聯隊本部ニ配属セラル

十一月三十日 晴天 舎營

午前一時第三大隊本部二十十二テ伝騎ヲ命セラル、午后十三旅団司令部ニ行キ新井中將及有末徳太郎ニ面会ス

十二月一日 晴天 舎營

午前聯隊長ト共ニ灰土崗第四中隊ニ行キ松本大尉ニ面会ス、第四中隊ハ本日奉天ニ行軍中、午后佐藤曹長ト共ニ午前二時迄呑酒ス

十二月二日 晴天 舎營

聯隊副官園獲馬ニ乗リ午后第二大隊煙台窩棚ニ行ク、本日荷物ヲ還送ス(奉天ニ五名行ク)

十二月三日(日) 晴天 舎營

午前支那芸人軽業来リ、見物シ其ノ熟練ニ驚ク、午后煙台窩棚ニ飯田少佐ヲ迎ニ行ク

十二月四日 晴天 舎營

奉天行軍、赤羽根上等兵以下帰隊ス、酒ノ給与アリ、昨日支那兵ヨリ書ヲ貰フ、今夜蓄音器ヲ聞ク

十二月五日 大風晴 舎營

午前黄岡子第七中隊近江谷伍長ニ面会シ増毛大火ノ話ヲ為ス、本日ハ二〇三山占領記念日ニテ伝令卒・従卒・輸卒・馬丁ヲ集メ宴会ス、乗馬歩兵隊ニテモ夜明迄飲ム

十二月六日 晴天 舎營

軍艦高雄乗組二等兵曹小林初太郎氏ヨリ来信アリ、ゼンザイ食ス、富士太郎雜誌ヲ送ル

十二月七日 晴天 舎營

本日外乗、鈴木上等兵来リ飲酒

十二月八日 晴天 舎營

本日ウドン打ツ、其他異状ナシ

十二月九日 晴天 舎營

十三旅団長吉田少將閣下来隊、午后写真師来ル、異状ナシ

十二月十日(日) 晴天 舎營

本夜乘馬歩兵隊ニテ蓄音機ノ技手ヲ行フ、目下第二軍凱旋中ニテ各隊凱旋ノ話ノミ

十二月十一日 晴天 ○度下十三度

午前各大隊各中隊長、本部集合、勲功ノ件ニ付會議中、大東曹長第三大隊ヨリ歸隊ス

十二月十二日 晴天 嚴寒 舍營

午后會報ニ参会、夜半渡辺大佐ト共二十三旅団司令部ニ行キ勲功ノ件ニ付キ協議ス、有川參謀陸軍省人事局ニ転任

十二月十三日 晴天 舍營

午前九時ヨリ英盤第三中隊ニテ兎狩ニ付聯隊長ト共ニ五家子方面ニ獵犬ヲ連レ出張、帰途旅団司令部ニ寄ル、煙草四十本酒ニ合甘味品二十匁下給アリ

十二月十四日 ○下十八度 舍營

午前德勝台第一中隊写真ヲ撮リニ行ク、午前聯隊本部ニテ將校一同紀念撮影セリ

十二月十五日 晴天 舍營

嚴寒、夜六時ヨリ聯隊長ト共ニ旅団司令部ニ行キ夜明歸リ遼陽見物兵歸隊ス

十二月十六日 晴天 舍營

本日聯隊長ノ各地新聞社ニ送ル書簡ヲ認ム、寺田上等兵野戰病院ヨリ歸ル、佐藤曹長新民庁ヲ經テ營口街ニ物資調弁トシテ高橋主計ト共ニ出張ス

十二月十七日(日) 晴天 舍營

午前聯隊本部及乘馬歩兵一同写真、及自己一人乘馬ニテ写ス、第一大隊本部ニ酩酊ノ上行ク

十二月十八日 晴天 舍營

午前各中隊長大隊長ヲ集メ功績件ニ付協議セラル、札幌支庁長慰問トシテ來隊セラル

十二月十九日 大降雪 舍營

午前七時札幌支庁長見送リトシテ聯隊長ト共ニ新城子停車場ニ行ク、即時歸隊

十二月二十日 ○下十九度 舍營

佐藤曹長營口ヨリ歸ル、嚴寒耳鼻ヲ墜スノ思ヲ為セリ

十二月二十一日 晴天 舍營

外出セス、記事ナシ

十二月二十二日 晴天 舍營

午后寺田上等兵退院、英盤迄出迎ス、夜中馬丁及乘馬歩兵隊ニテ午前四時迄飲酒大ニ賑フ

十二月二十三日 晴天 舍營

午前聯隊本部ヨリ歸ル、青森市吉尾氏ヨリ枕草子及裸体写真送ラル

十二月二十四日(日) 晴天 舍營

午前大東曹長ト共ニ高橋主計ニ行キ會飲ス、斎藤松太郎急病受診、赤羽根上等兵酩酊ノ上釜中ニ放尿ス

十二月二十五日 晴天 舍營

正月ノ準備中、記事ナシ

十二月二十六日 晴天 舍營

元第七師団參謀長摺沢少将午后十時新城子駅通過ス、支那人ノ淫婦ノ盛シナルニ驚ク

十二月二十七日 晴天 舍營

本日厩舎新築ス、来ル三十日第三軍司令官及当師団長及吉田旅団長等旅順ニ向テ開城一周年式ノ為メ出発ス、軍司令部ハ正月四日鉄嶺出發凱旋ノ通知アリ

十二月二十八日 晴天 舍營

午后鉄炉舗ニ芝居見物ニ行ク、真嶋上等兵同行ス、大東曹長ト吉田參謀長ヲ訪ヒ会飲シ端書ノ揮毫ヲ貰フ

十二月二十九日 晴天 舍營

齋藤松太郎木流屯第二野戦病院ニ入院ス、餅米五合ツ、給与アリ、正月準備中

十二月三十日 晴天 舍營

前七時勲功之件ニ就キ英盤第三中隊徳勝台第一中隊、旅団鉄炉舗第二中隊ニ至リ炭土崗ヲ経テ帰ル、西風骨ニ沁ク、各村落宿營地門松国旗飾付盛ナリ

十二月三十一日(日) 晴天 舍營

午前大晦日ソパ打チ午后聯隊本部ニテ写真再写ス

(はらだ けいいち 歴史学科)

二〇一八年十一月十五日受理